2027年3月期 第2四半期（中間期）決算
IR説明会資料

2026年11月

株式会社　極　　洋

（東証プライム市場　証券コード　1301）



Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

目次

1. 上半期　総括	p. 3-6
2. 上半期　実績 ・ 通期　予想	p. 7-11
3. セグメントの状況	p. 12-23
4. 下半期の施策	p. 24-30
5. 研究開発費・設備投資・減価償却費	p. 31-34
6. 株主還元	p. 35-36
7. ご参考資料	p. 37-50

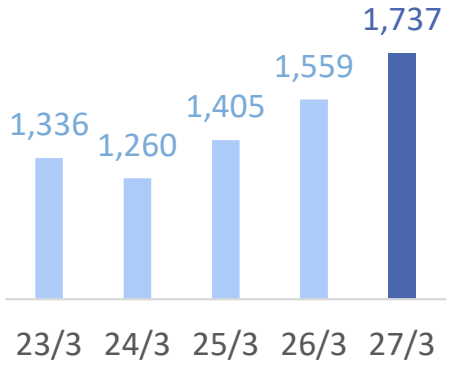
Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

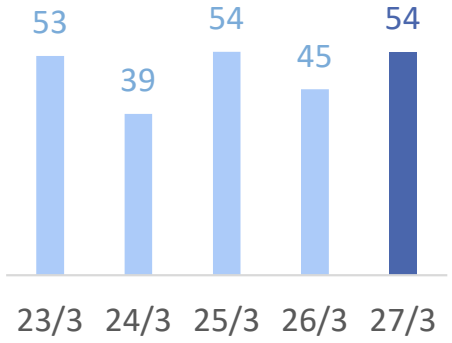
1. 上半期　総括

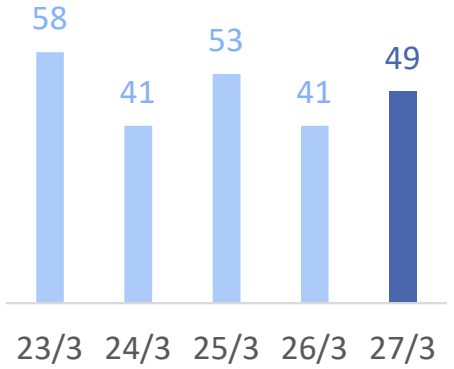
Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

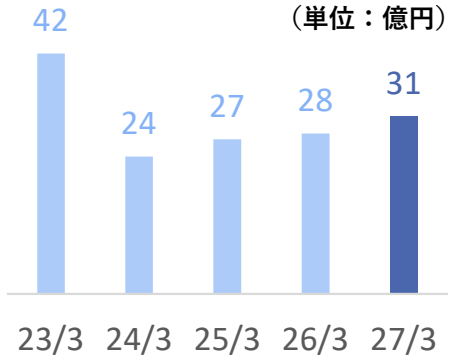
2027年3月期中間期　ハイライト

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
1,737億円	54億円	49億円	31億円
前期比 177億円増（+11.4%）	前期比 8億円増（+18.8%）	前期比 7億円増（+18.2%）	前期比 3億円増（+13.5%）









➢ ポイント　～売上成長とともに、利益額は着実に伸長～

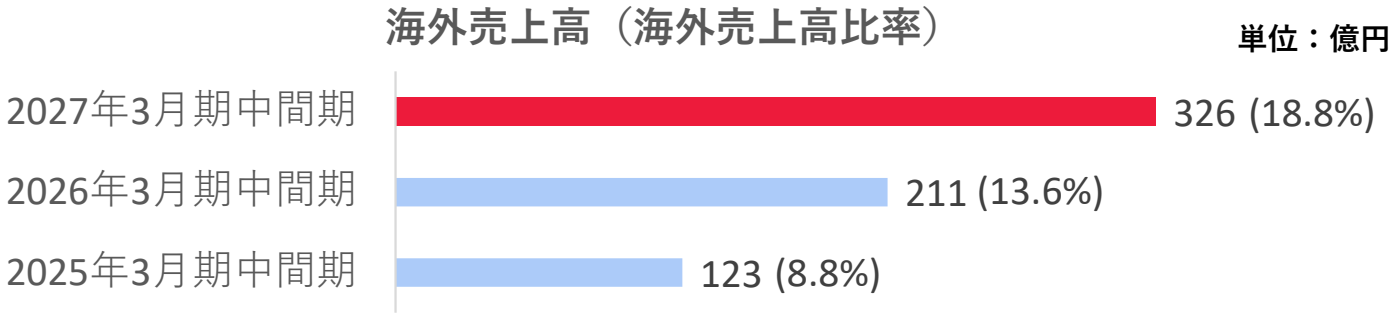
- 売上高は3期連続過去最高値を更新
- 原材料価格の高騰が続く事業環境下、営業利益、経常利益、中間純利益は前期対比すべて増益を達成
- 下期は、年末商戦での高額商材を中心とした販売強化と在庫コントロールにより、売上高の伸長、利益の積み上げ、営業キャッシュフローの創出を図る

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画　重点戦略の進捗

事業基盤の拡充　海外事業の拡大

中期経営計画目標　**2027年3月期　海外売上高比率 15％以上（600億円）**



事業基盤の拡充　高収益を確保できる付加価値性の高い商品づくり

- **2026年秋の新商品発表【26年7月】**
  「さぁ、今日も魚を楽しもう。」をテーマに、おいしさを手軽に楽しめる魚を中心としたこだわりの新商品をご提案。



キョクヨーソーセージ



うま塩えびから


北海道産大ずわいがに入り
海鮮カツ



だんどり上手 メヌケ切身（骨なし）

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画　重点戦略の進捗

ステークホルダーとのパートナーシップの強化　消費者との信頼関係構築

- **社員が出演する企業CM第2弾の放映【26年4月】**
- **オリジナルキャラクター「だんどり～にゃ」と「ぺこり～にゃ」を起用した新CMを放映開始【26年10月】**

新商品「キョクヨーソーセージ」と、長年親しまれている「さば缶」を紹介。耳に残る音楽に乗せて社名と商品名を訴求し、当社が皆さまの身近なところにある企業であることを印象的に伝え、ブランド力を強化。



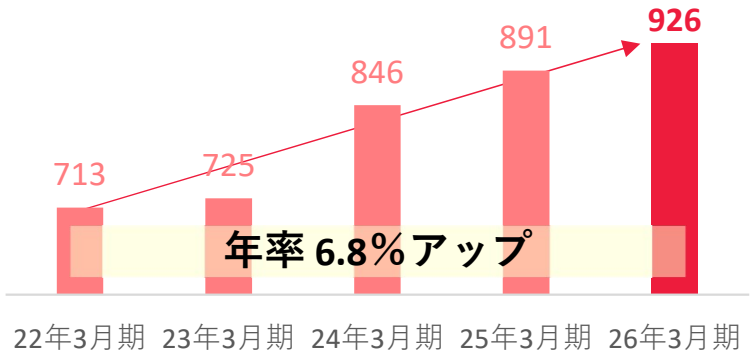
新企業CM

ステークホルダーとのパートナーシップの強化　従業員が働きやすい職場環境

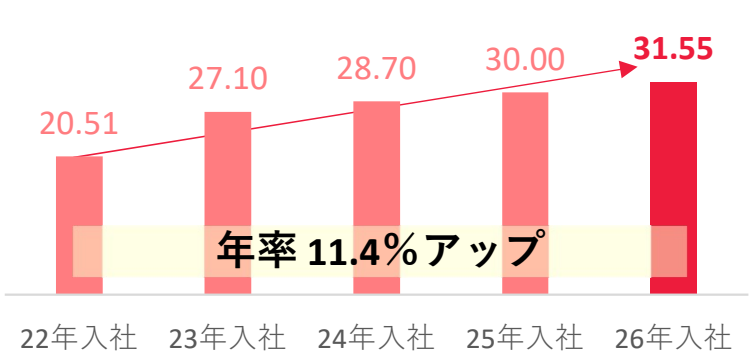
- **組合員平均月額14,000円アップ、初任給は315,500円に引き上げ【26年4月】**

モチベーション向上と生活の安定化を図ることで、働きやすい環境づくりを進める。

平均年間給与の推移（万円）



初任給の推移（万円）



※22年入社は平均的な手当てを含めた額。
23年入社以降は諸手当を含まない。

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 上半期　実績 ・ 通期 予想

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結損益計算書

（単位：百万円）

	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	前年同期比		2027年3月期 通期予想	通期予想比（達成率）
			増減額	増減比率		
売上高	155,996	173,763	17,766	11%	365,000	48%
営業利益	4,555	5,411	856	19%	12,000	45%
経常利益	4,172	4,932	760	18%	11,000	45%
親会社株主に帰属する中間純利益	2,814	3,195	380	14%	7,200	44%

- 売上高は、水産事業での国内販売の伸長、生鮮事業での鰹鮪商材の販売増により増収
- 営業利益は、ギンサケや魚卵商材・切身商材の利益増、子会社の海外まき網事業での利益貢献より増益

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2025年9月末	2026年9月末	前年同期比		2025年9月末	2026年9月末	前年同期比
資産の部				**負債の部**			
流動資産	**147,401**	**161,864**	**14,462**	**流動負債**	**90,160**	**106,788**	**16,627**
受取手形及び売掛金	42,592	43,137	544	内、支払手形及び買掛金	12,754	16,160	3,406
				内、短期借入金（含むCP）	59,738	69,983	10,245
商品及び製品	64,147	70,593	6,445	**固定負債**	**37,874**	**35,525**	**△ 2,349**
仕掛品	5,532	6,278	745	内、長期借入金	32,964	28,732	△ 4,232
原材料及び貯蔵品	15,965	19,276	3,310	**負債合計**	**128,035**	**142,313**	**14,278**
その他	11,101	15,326	4,224	**純資産の部**			
固定資産	**52,625**	**62,527**	**9,901**	**株主資本**	**59,162**	**65,292**	**6,129**
有形固定資産	27,866	29,346	1,479	**その他の包括利益累計額**	**11,241**	**15,934**	**4,693**
無形固定資産	1,683	1,835	152	**非支配株主持分**	**1,588**	**850**	**△ 737**
投資その他の資産	23,075	31,345	8,269	**純資産合計**	**71,992**	**82,078**	**10,085**
資産合計	**200,027**	**224,391**	**24,364**	**負債及び純資産合計**	**200,027**	**224,391**	**24,364**

- 商品や原材料等の棚卸資産が増えたこと、海外子会社の工場等設備を計上したことを主因に資産合計は増加
- 在庫等の運転資本の増加に伴い、短期借入金を中心に負債は増加
- 中間純利益からの株主資本の積み上がりにより純資産合計は820億円まで増加

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結キャッシュフロー計算書

（単位：百万円）

		2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	前年同期比
営業活動による キャッシュ・フロー	税金等調整前中間純利益	4,197	4,985	788
	減価償却費	1,434	1,500	66
	売上債権の増減（△は増加）	△ 6,054	△ 3,816	2,238
	棚卸資産の増減（△は増加）	△ 10,813	△ 6,743	4,070
	仕入債務の増減（△は減少）	3,141	1,624	△ 1,517
	その他	△ 545	△ 2,249	△ 1,704
	小計	△ 8,639	△ 4,699	3,940
投資活動による キャッシュ・フロー	固定資産の取得	△ 2,156	△ 1,439	717
	その他	△ 896	△ 1,470	△ 574
	小計	△ 3,053	△ 2,909	144
財務活動による キャッシュ・フロー	短期借入金（含むCP）の増減（△は減少）	16,019	8,830	△ 7,189
	長期借入れの増減（△は減少）	△ 2,123	△ 1,944	179
	その他	△ 1,663	△ 2,761	△ 1,098
	小計	12,232	4,124	△ 8,108

- 棚卸資産や売掛債権等の運転資本の増加により営業キャッシュフローはマイナス（ただし、前期同期比39億円改善）
- 短期借入金で工場設備等固定資産の取得による投資支出を含めたキャッシュフロー不足を賄い、財務キャッシュフローはプラス

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結財務関係指標

連結財務指標の推移

	2023年3月期 中間期	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	前年同期比
自己資本（百万円）	46,027	50,219	61,340	70,404	81,227	10,823
有利子負債（百万円）	75,748	74,435	82,609	94,029	99,313	5,284
総資産（百万円）	150,833	155,112	173,772	200,027	224,391	24,364
現金及び現金同等物の中間期末残高（百万円）	5,880	7,681	8,917	8,071	7,263	△ 808
自己資本比率	30.5%	32.4%	35.3%	35.2%	36.2%	+1.0pt
D/Eレシオ	1.6倍	1.5倍	1.3倍	1.3倍	1.2倍	△0.1

D/Eレシオ　有利子負債÷自己資本

当社グループの事業には季節性があり、中間期は年末商戦に向けた在庫・運転資金の増加により有利子負債が期末対比で高まる傾向があります。このため、中間期のD/Eレシオは期末対比で上昇する点にご留意ください。

- 資産規模の拡大に伴う利益の創出・積み上がりにより自己資本は36.2％まで着実に上昇
- 在庫管理により在庫回転日数の改善に努めて、売上高伸長に伴う借入金の増加幅を抑制
- 上記の結果、D/Eレシオは1.3倍→1.2倍に改善

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. セグメントの状況

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメントの状況

セグメント別売上高・利益

（単位：百万円）

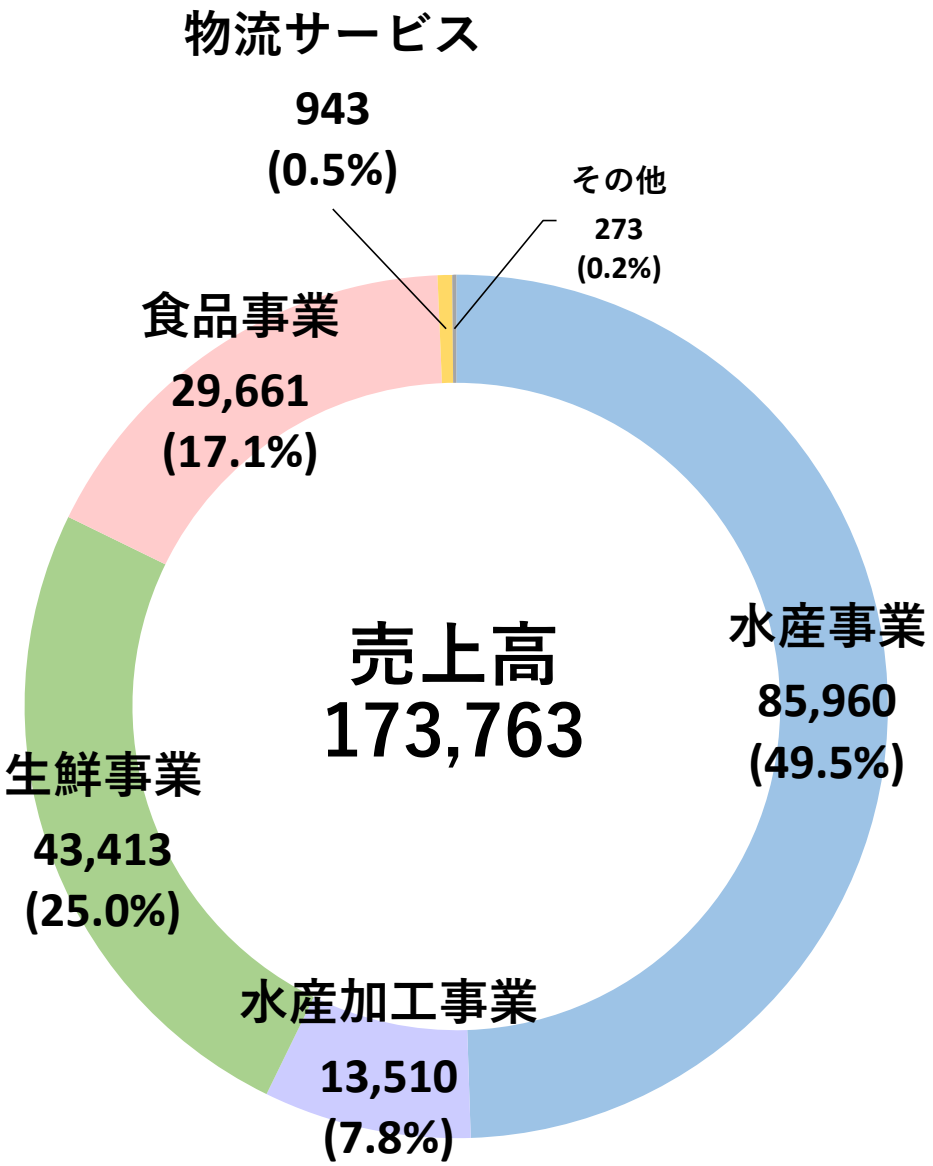
	売上高			セグメント利益			利益率		
	26年3月期 中間期	27年3月期 中間期	前年 同期比	26年3月期 中間期	27年3月期 中間期	前年 同期比	26年3月期 中間期	27年3月期 中間期	前年 同期比
水産事業	76,769	85,960	9,191	2,280	2,145	△ 135	3.0%	2.5%	△ 0.5pt
水産加工事業	12,851	13,510	659	433	593	160	3.4%	4.4%	1.0pt
生鮮事業	36,712	43,413	6,701	1,616	2,770	1,154	4.4%	6.4%	2.0pt
食品事業	28,547	29,661	1,114	1,027	1,057	30	3.6%	3.6%	同ポイント
物流サービス	827	943	116	156	174	18	18.9%	18.5%	△ 0.4pt
その他	288	273	△ 15	△ 960	△ 1,329	△ 369	―	―	―
合計	155,996	173,763	17,767	4,555	5,411	856	2.9%	3.1%	0.2pt

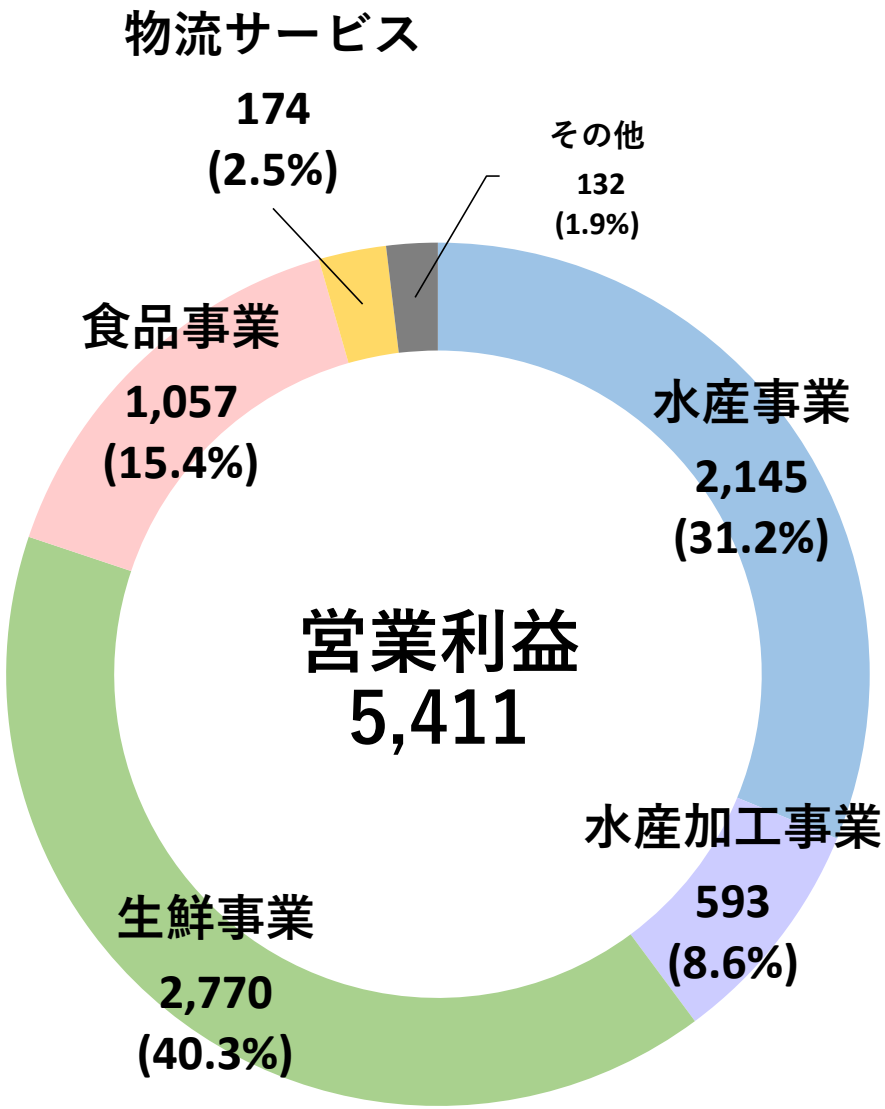
「その他」のセグメント利益には調整額を含みます。
調整額：各報告セグメントに配分していない全社費用。主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用。

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメントの状況

（単位：百万円）
カッコ内は構成比





※調整額　△1,461百万円を除く。
　調整額を差し引く前のセグメント利益合計は6,873百万円。

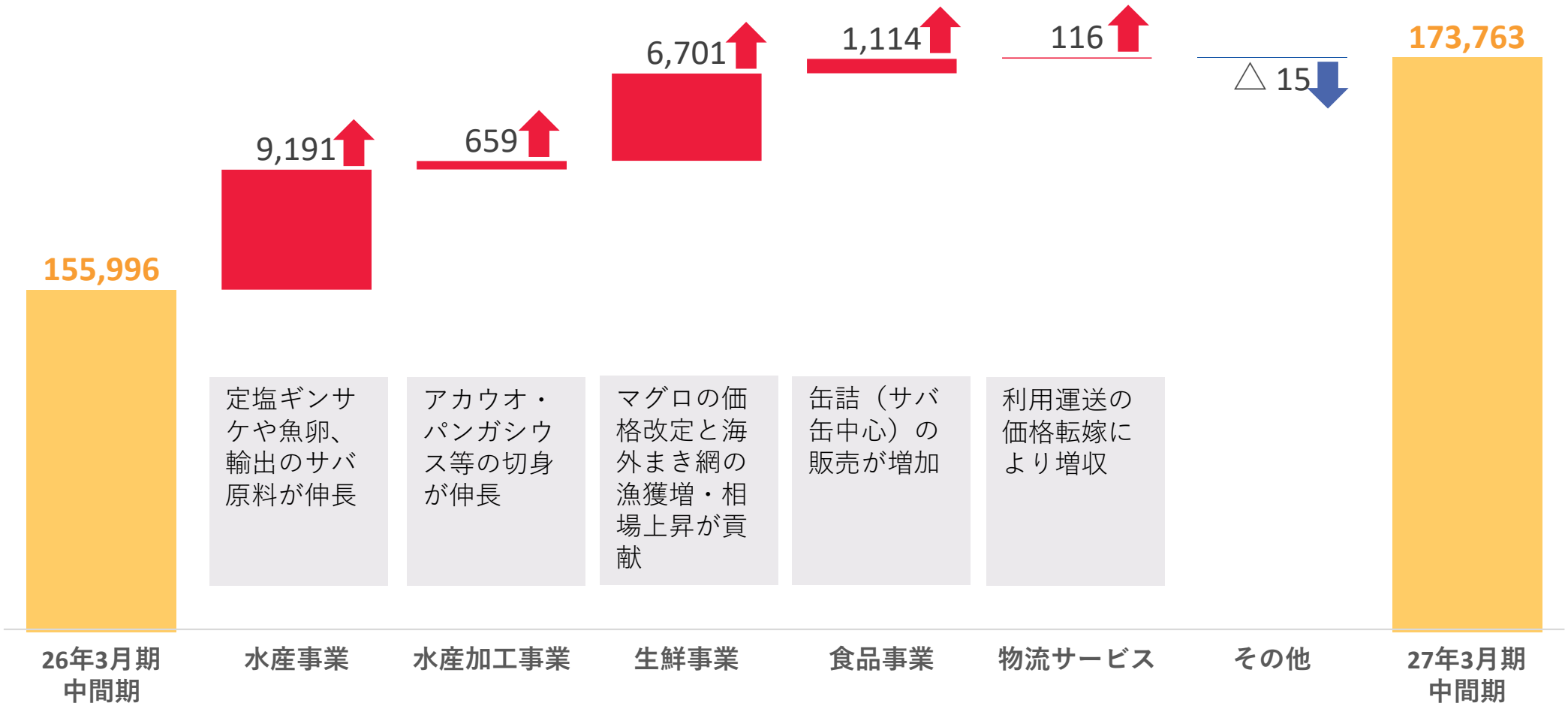
Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメントの状況

売上高のセグメント別増減

26年3月期中間期
1,559億円
→ +11.4%
27年3月期中間期
1,737億円

（単位：百万円）



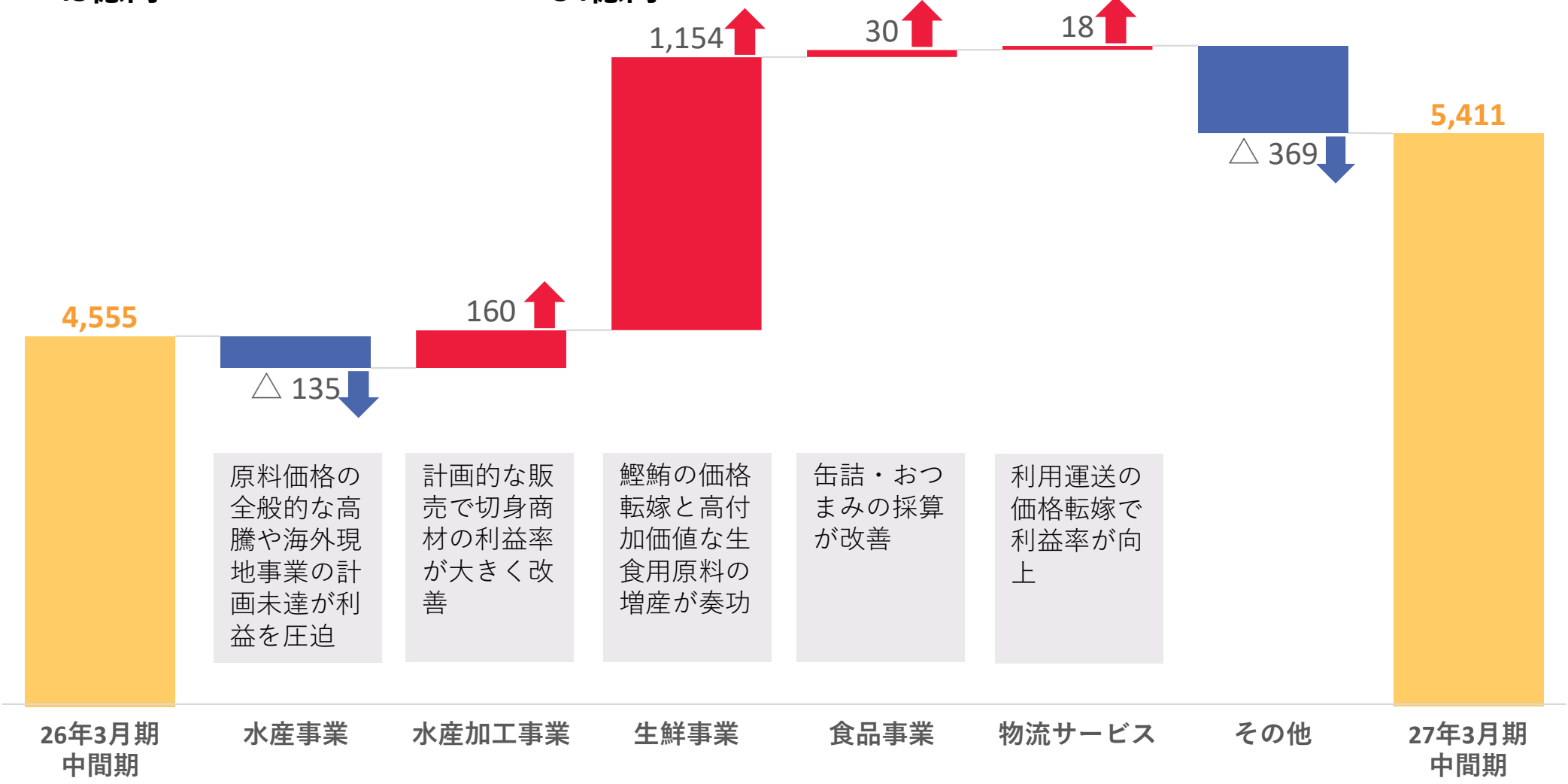
Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメントの状況

営業利益のセグメント別増減

26年3月期中間期 45億円 → +18.8% → 27年3月期中間期 54億円

（単位：百万円）



「その他」のセグメント利益には調整額を含みます。
調整額：各報告セグメントに配分していない全社費用。主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用。

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメントの状況

水産事業　《増収減益》

国内販売

- 原料価格が全般的に高騰するなか、計画的な販売により売上を確保

サ　ケ：定塩ギンサケの販売が伸長。

エ　ビ：エクアドル産バナメイエビは産地相場が安値横ばいで推移し、販売重量・売上とも前年割れ。
年初より買付したインド産バナメイエビは、原料および加工品の販売が堅調に推移。

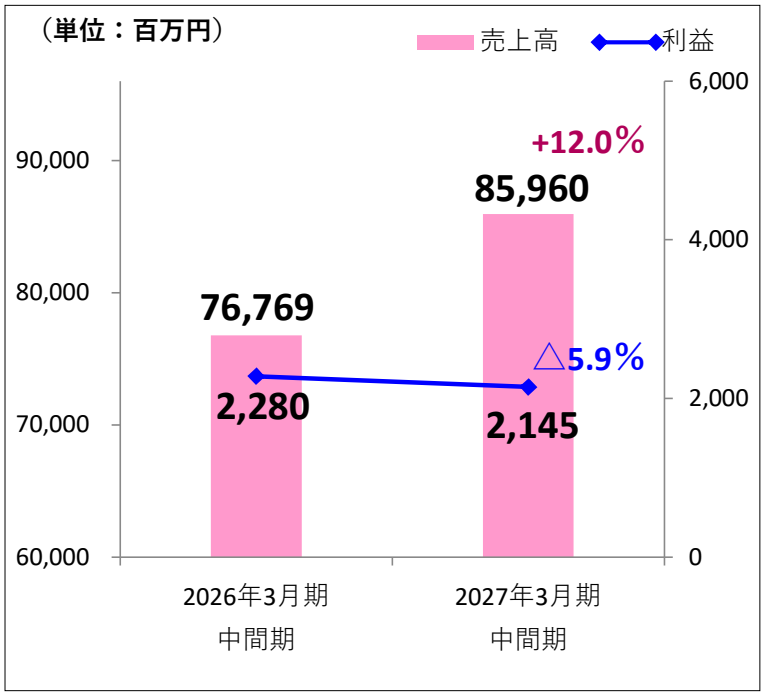
魚　卵：製品販売は相場に合わせた価格改定を実施し増収増益。

カ　ニ：荷動き低調で苦戦。

ホタテ：供給量減少による原料高と製品相場下落が収支を圧迫。

サ　バ：ノルウェーサバの記録的高値で国内消費は落ち込んだが、安価な原料へのシフトにより、原料販売は堅調に推移。加工品は安価な製品との競合で販売が減少。

北洋魚：相場が大幅に上昇。高値局面での在庫販売と、必要量の都度調達の併用により取扱数量の維持に努めたが、高値の影響を受け荷動きが鈍化。



	売上高	利益
国内販売	↗	↘
海外事業	↗	↘

※「ご参考資料」に「魚種別（原料）売上金額・単価推移」を記載しております。

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメントの状況

水産事業

海外事業

- 輸出は、サバ原料などの販売が伸長
- 海外現地事業は、事業規模が拡大するも、利益は計画未達

北　米：カニむき身等の高利益商材の販売が堅調に推移したものの、米国での消費ニーズにマッチしたカニ風味かまぼこの量産・販売に至らなかったことなどにより減益。

欧　州：昨年買収した北欧の会社が売上・利益に寄与したほか、オランダ子会社は生産品目の集約により収支が改善。トルコ子会社は価格改定の遅れにより減益。

アジア：中国子会社の販売が伸長。ベトナム子会社は生産量は増加したものの、人員の制約などにより生産が計画を下回り減益。

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメントの状況

水産加工事業 《増収増益》

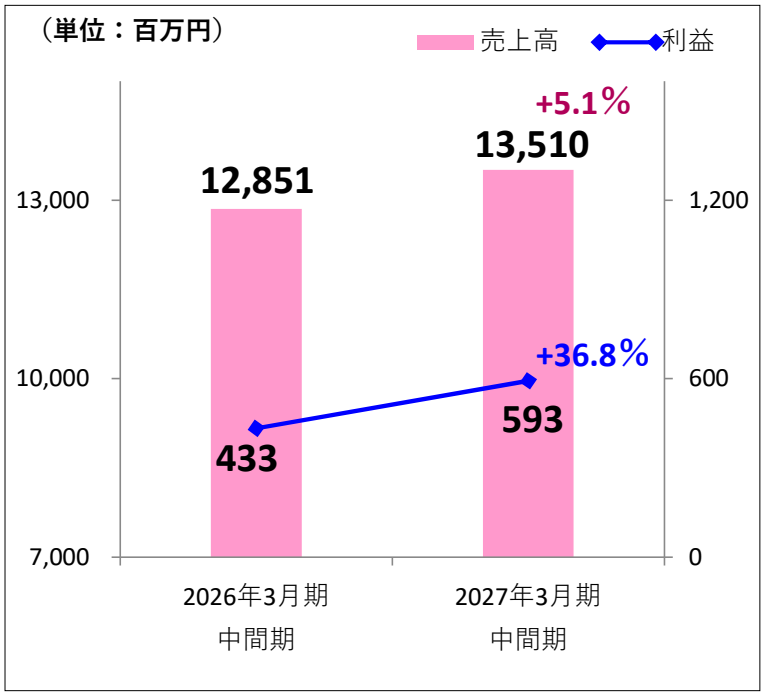
切身

- 原料価格高騰のなか、計画的な販売により利益率の改善を図り、売上・利益とも増加

アカウオ：白身魚の相場上昇が見込まれる地合いを背景に、売上・利益が伸長。

サ　バ　：価格高騰により販売数量は落ち込んだものの、計画的な販売により売上・利益を確保。

パンガシウス：高騰原料の代替提案として注力し、売上・利益に貢献。



「だんどり上手」シリーズ

- サケマス・カレイの切身の販売が伸長したものの、販売価格上昇の影響で苦戦

	売上高	利益
水産加工事業	↗	↗

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメントの状況

生鮮事業 《増収増益》

鰹鮪販売

- 原料価格が高値で推移するなか、主力の畜養クロマグロを中心に価格改定を着実に進めて販売に注力したことにより、販売数量・売上・利益とも伸長

生食事業

- エビ・ウナギが好調に推移したものの、ホタテ・イクラは原料価格の高騰により販売数量が減少。回転寿司向けの販売が苦戦し、利益を圧迫

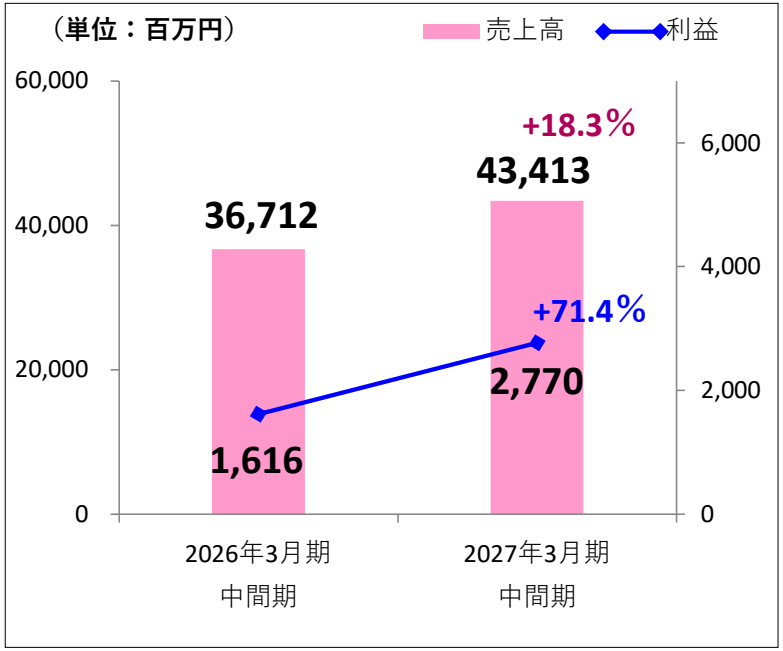
海外まき網事業

- 漁獲量増加や原料相場上昇に加え、高付加価値な生食用原料の増産に取り組んだことにより、売上・利益とも前年同期比で大幅に増加

養殖事業

- 飼料費の高騰などの課題があるなか、国産クロマグロの価格転嫁を図り、販売促進に努めた結果、売上・利益とも伸長

※「ご参考資料」に「クロマグロ養殖事業 売上重量・金額」および「海外まき網事業 水揚げ重量・魚価」 を記載しております。



	売上高	利益
鰹鮪販売	↗	↗
生食事業（寿司種中心）	→	→
海外まき網事業	↗	↗
養殖事業	↗	↗

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメントの状況

食品事業　《増収増益》

業務用冷凍食品

- エビフリッターやエビカツなどの水産フライの販売数量が増加したものの、カニ風味かまぼこの販売数量は原料価格上昇に伴う値上げにより減少し、全体では、売上・利益とも前年同期並み

市販用冷凍食品

- CVS向けのサバの焼魚や煮魚、中食商品の販売減少が続き、価格改定にも苦戦。これを主因に焼魚製品製造子会社の利益が悪化したことから、市販用冷凍食品全体では利益が減少

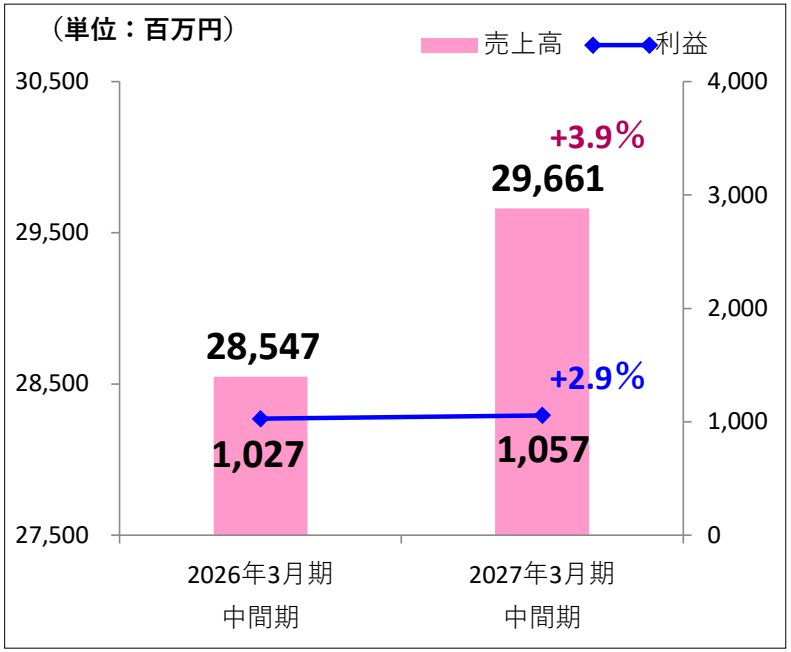
缶詰

- 主力のサバ缶を中心に、イワシ缶・マグロ缶などの販売が伸長し、販売数量・売上・利益ともに増加

おつまみ・珍味

- イカの原料価格の低下および工場集約の効果により増益

※「ご参考資料」に「食品事業の売上高内訳」を記載しております。



	売上高	利益
業務用冷凍食品	→	→
市販用冷凍食品	↗	↘
缶詰	↗	↗
おつまみ・珍味	↘	↗

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメントの状況

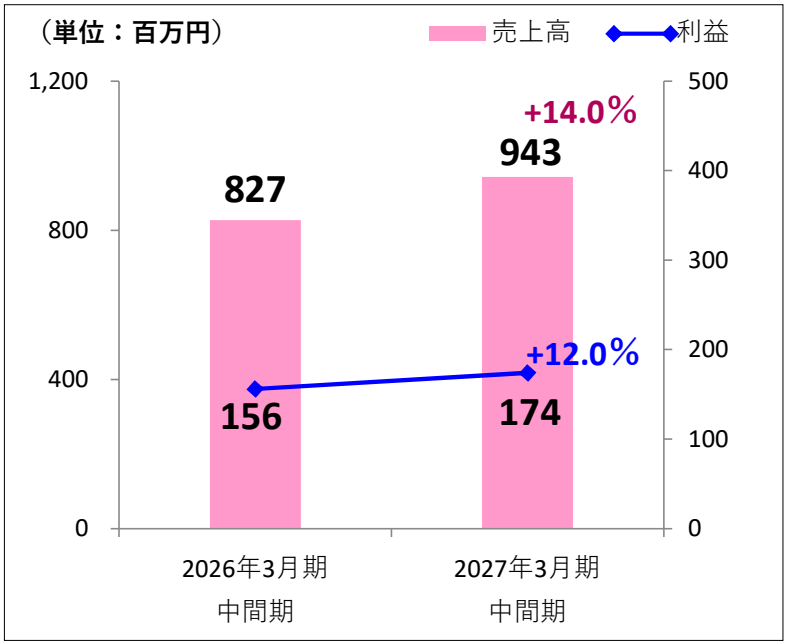
物流サービス　《増収増益》

冷蔵倉庫事業

- 入庫トン数・収入トン数は前年同期を下回り、減益

利用運送事業

- 協力運送会社からの価格改定があったものの、価格転嫁によって利益率が向上



	売上高	利益
物流サービス	↗	↗

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別業績予想と進捗率

（単位：百万円）

	売上高			セグメント利益		
	27年3月期 中間期	27年3月期 計画	進捗率	27年3月期 中間期	27年3月期 計画	進捗率
水産事業	85,960	186,600	46%	2,145	6,000	36%
水産加工事業	13,510	28,500	47%	593	1,000	59%
生鮮事業	43,413	84,500	51%	2,770	4,400	63%
食品事業	29,661	63,000	47%	1,057	2,300	46%
物流サービス	943	1,800	52%	174	350	50%
その他	273	600	46%	△ 1,329	△ 2,050	65%
合　計	173,763	365,000	48%	5,411	12,000	45%

「その他」のセグメント利益には調整額を含みます。
調整額：各報告セグメントに配分していない全社費用。主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用。

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

4. 下半期の施策

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

下半期の施策

水産事業

（単位：百万円）

売上高			セグメント利益		
27年3月期 中間期	27年3月期 計画	進捗率	27年3月期 中間期	27年3月期 計画	進捗率
85,960	186,600	46%	2,145	6,000	36%

（国内販売）

- 水産物の販売力の強化

  水産原料及び加工品の安定的な継続販売ルートへの販売の強化拡大

- 資源アクセスの強化

  既存仕入先との関係深化と新規商材・新規仕入先の開拓

- 市況を捉えた在庫のメリハリによる収益の最大化

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

下半期の施策

水産事業

（海外事業）

北米

- 北米メインストリーム向けに主力商材であるカニ・サケの原料販売強化
- 高利益率商材（カニむき身・甘エビ・マグロ類）の拡販
- 米国カニカマ事業における寿司ベンダーや量販店の新規顧客獲得
- 米国での大量消費型スペック製品（カニ風味かまぼこ）の量産体制の整備

欧州

- 生産効率向上と固定費の回収
- 商品別の収益性と生産効率の向上。高粗利を確保できる重点品目への生産集約
- 各拠点同士の連携による生産・販売面でのシナジー創出
- 在庫の管理の強化

アジア

- タイ国内での販売を軸に、海外市場での事業展開を拡大
- 工場の増産体制構築に向けたワーカーの継続的な採用施策と定着率向上

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

下半期の施策

水産加工事業

（単位：百万円）

売上高			セグメント利益		
27年3月期 中間期	27年3月期 計画	進捗率	27年3月期 中間期	27年3月期 計画	進捗率
13,510	28,500	47%	593	1,000	59%

- 水産事業の原料アクセス優位性と食品事業の販売力の融合
- 自社ブランド「だんどり上手」の販売強化

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

下半期の施策

生鮮事業

（単位：百万円）

売上高			セグメント利益		
27年3月期 中間期	27年3月期 計画	進捗率	27年3月期 中間期	27年3月期 計画	進捗率
43,413	84,500	51%	2,770	4,400	63%

鰹鮪販売

- 価格改定・在庫回転の強化

生食事業

- 大手回転寿司との関係強化、新商品の立ち上げ、海外店舗への販売拡大

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

下半期の施策

食品事業

（単位：百万円）

売上高			セグメント利益		
27年3月期 中間期	27年3月期 計画	進捗率	27年3月期 中間期	27年3月期 計画	進捗率
29,661	63,000	47%	1,057	2,300	46%

業務用水産冷凍食品（カニ風味かまぼこ・水産フライ品 等）

- 自社工場製品の拡販
- 新カテゴリーの商品の開発等による生産・販売数量の増加

市販用水産冷凍食品（煮魚・焼魚・油ちょう品 等）

- 焼魚を含むコンビニ向け製品の販売強化
- 代替魚種の製品の提案による、原料の供給量減少・価格高騰への対応

常温食品（缶詰・珍味製品 等）

- 新規販路開拓・既存取引先との新商品開発

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

下半期の施策

物流サービス

（単位：百万円）

売上高			セグメント利益		
27年3月期 中間期	27年3月期 計画	進捗率	27年3月期 中間期	27年3月期 計画	進捗率
943	1,800	52%	174	350	50%

- 配送・デリバリー・通関業務の標準化・DX化と、一元管理の推進
- カートンサイズの見直しによる物流効率の向上とコスト削減
- 保管と配送のセット提案・新規顧客開拓による売上拡大

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

5. 研究開発費・設備投資・減価償却費

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

研究開発費実績

（単位：百万円）

	25年3月期 中間期	26年3月期 中間期	27年3月期 中間期
研究開発費	159	169	176

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

設備投資実績

	概要	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	2027年3月期 計画
極洋	生産工場関連	5億円	1億円	1億円	5億円
	研究所関連	0億円	0億円	0億円	1億円
	養殖事業海上	1億円	0億円	0億円	1億円
	IT関連その他	1億円	2億円	2億円	5億円
	計	**7億円**	**3億円**	**3億円**	**12億円**
関係会社	生産工場関連	18億円	12億円	11億円	25億円
	まき網事業関連	1億円	0億円	1億円	2億円
	養殖事業海上	0億円	0億円	0億円	0億円
	IT関連その他	4億円	1億円	2億円	2億円
	計	**22億円**	**14億円**	**13億円**	**29億円**
合計		**29億円**	**17億円**	**16億円**	**41億円**

主な投資案件

DX推進
システム導入等　1億円

DX推進
システム導入等　4億円

工場新設　5億円
（残渣を活用した商品の生産工場）

国内：既存工場の設備導入・改修等
海外：工場の生産性向上・効率化

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

減価償却費実績

（単位：百万円）

	25年3月期 中間期	26年3月期 中間期	27年3月期 中間期
減価償却費	1,216	1,434	1,500

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

6. 株主還元

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

株主還元

利益配分に関する基本方針

株主に対する適切な利益還元を経営の重要な課題のひとつと位置付けており、企業体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実を図るとともに、安定配当を継続しつつも、中長期的な利益成長による配当水準の向上を目指します。

優待品

■ 贈呈時期　：　毎年7月予定

■ 対象株主及び優待の内容

（1）毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上3単元（300株）未満所有の株主様には、2,500円相当の当社製品を贈呈

（2）毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された3単元（300株）以上所有の株主様には、6,000円相当の当社製品を贈呈

配当の状況

	1株当たりの配当金	配当性向	DOE
2022年3月期	90円	20.9%	2.3%
2023年3月期	100円 （普通配当90円、記念配当10円）	18.5%	2.4%
2024年3月期	100円	18.2%	2.2%
2025年3月期	130円	22.9%	2.5%
2026年3月期	150円	26.0%	2.5%
2027年3月期予想	160円	26.4%	—

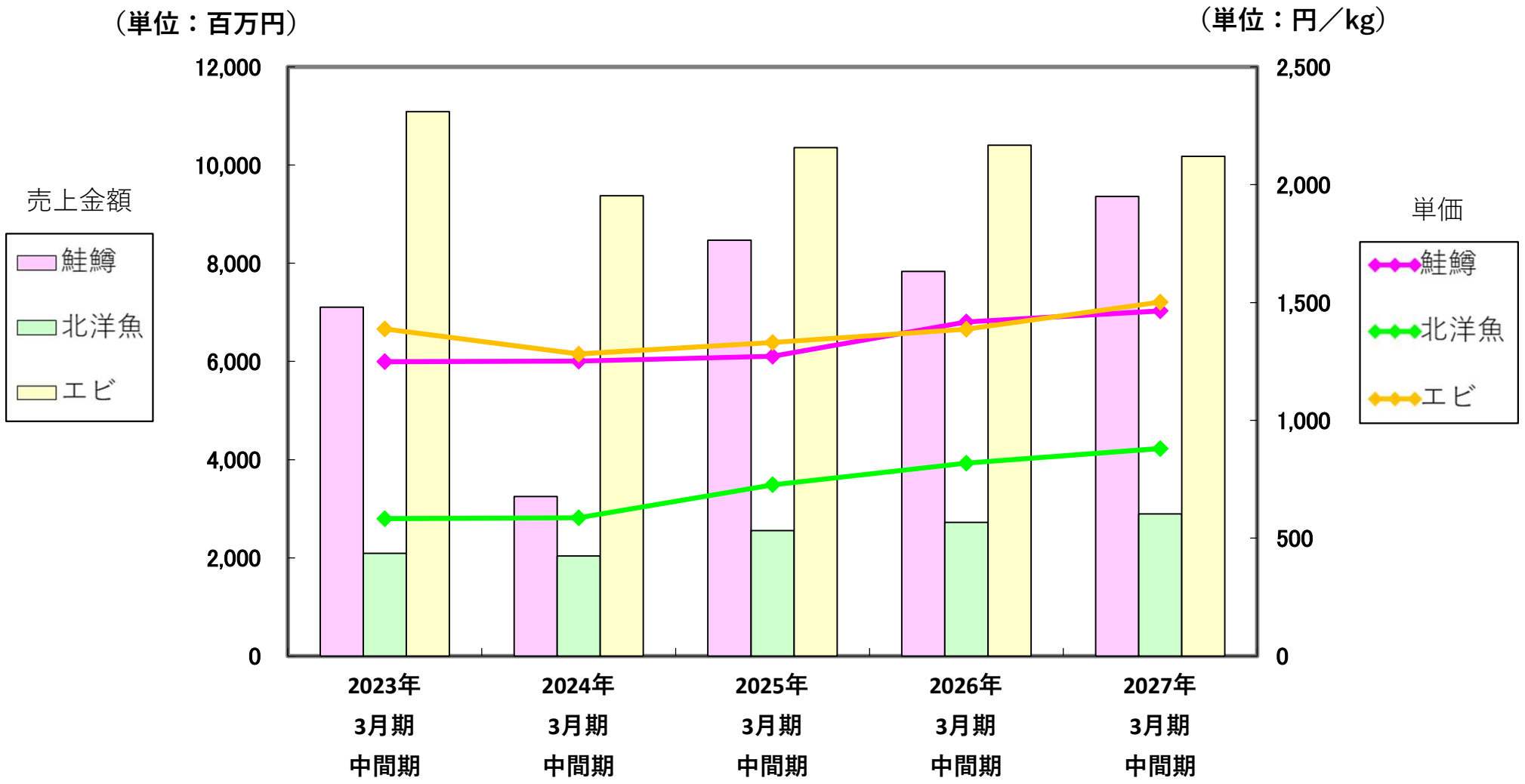
Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

ご参考資料

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

ご参考資料①

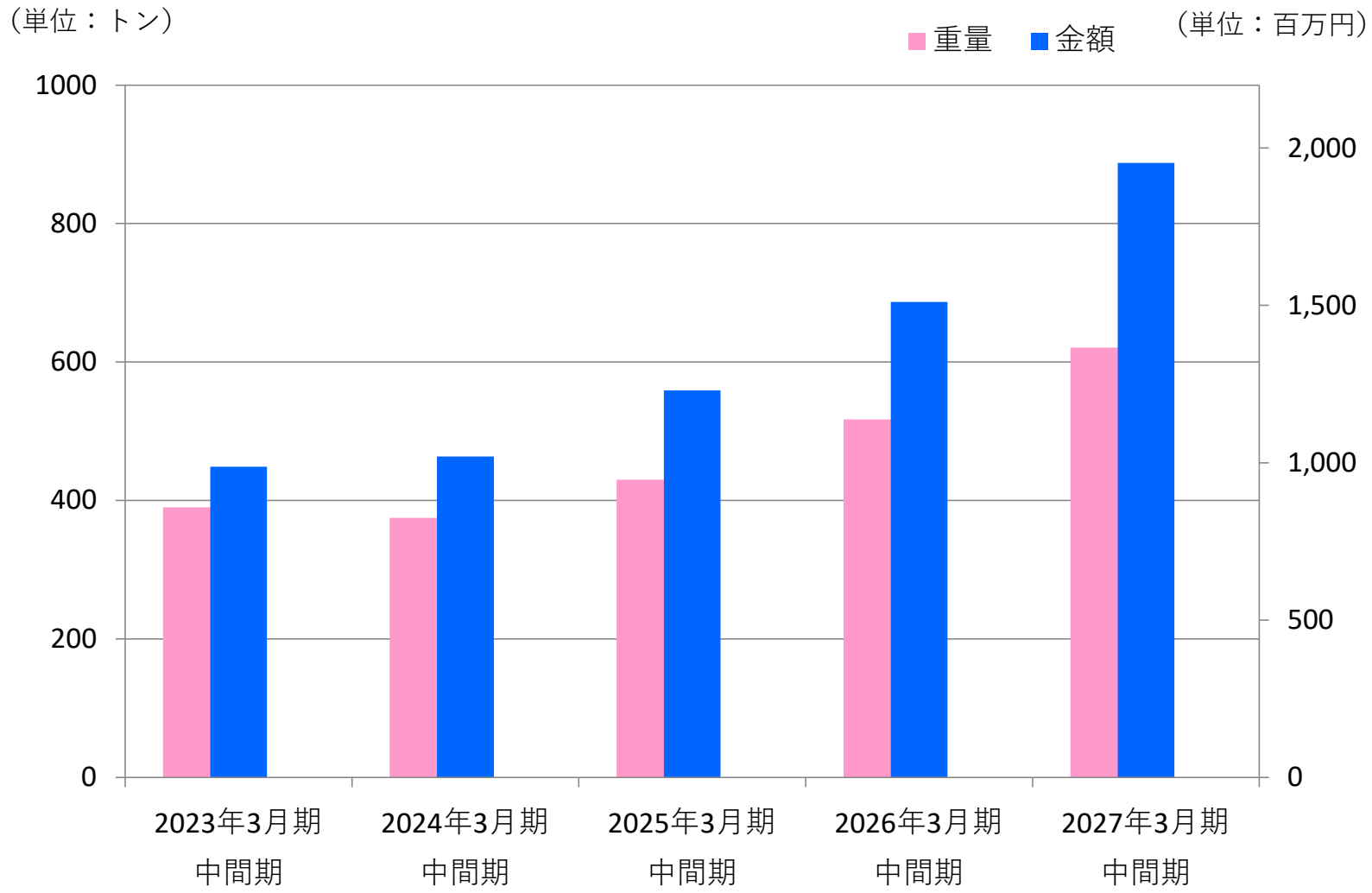
極洋単体
魚種別（原料）売上金額・単価推移



Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

ご参考資料②

生鮮事業セグメント
クロマグロ養殖事業　売上重量・金額

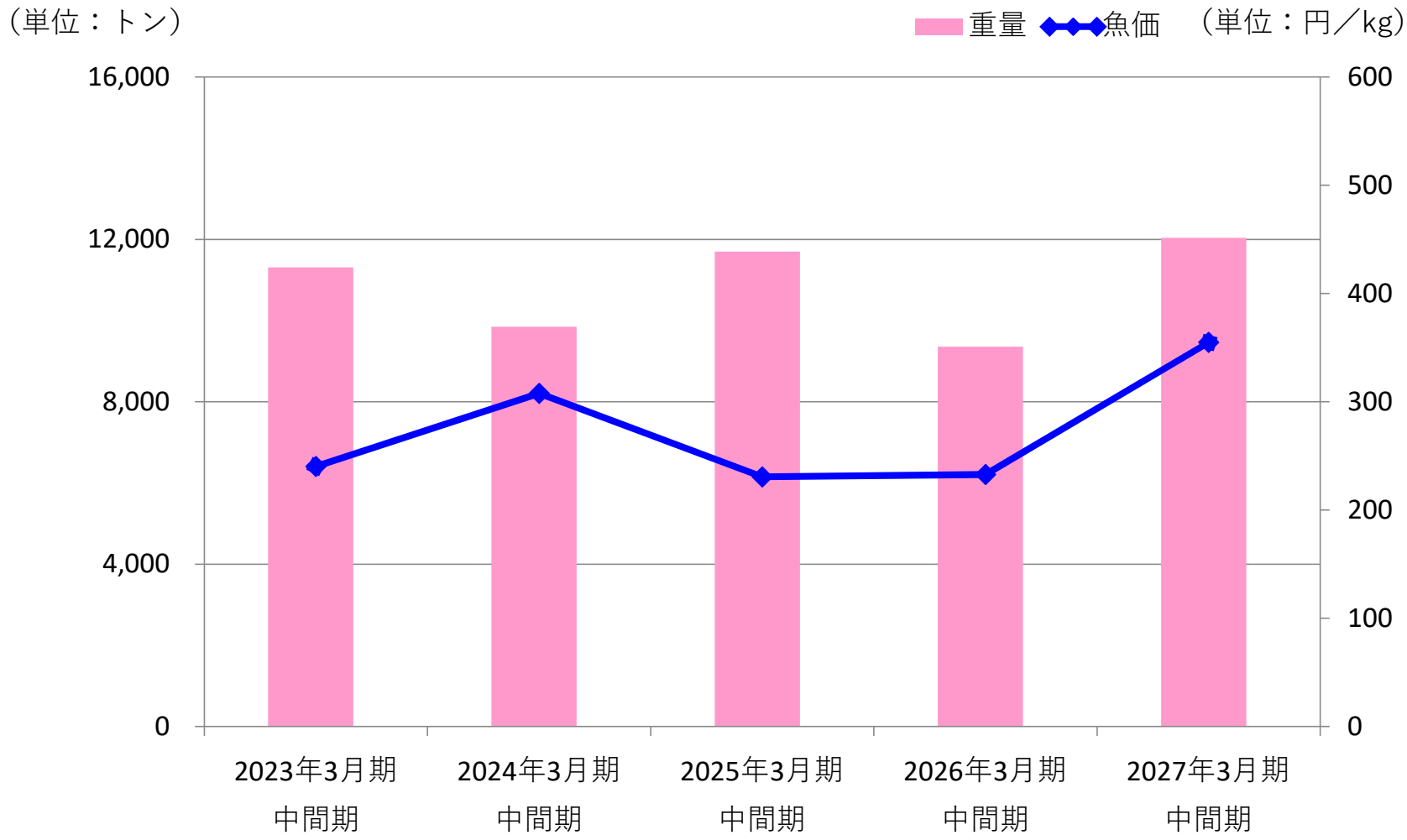


Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

ご参考資料③

生鮮事業セグメント
海外まき網事業　水揚げ重量・魚価

海外まき網事業について
中西部太平洋海域（パプアニューギニアなど）において自社グループ船で漁獲したカツオを、日本で水揚げ。鰹節・カツオタタキなどに加工され、流通している。



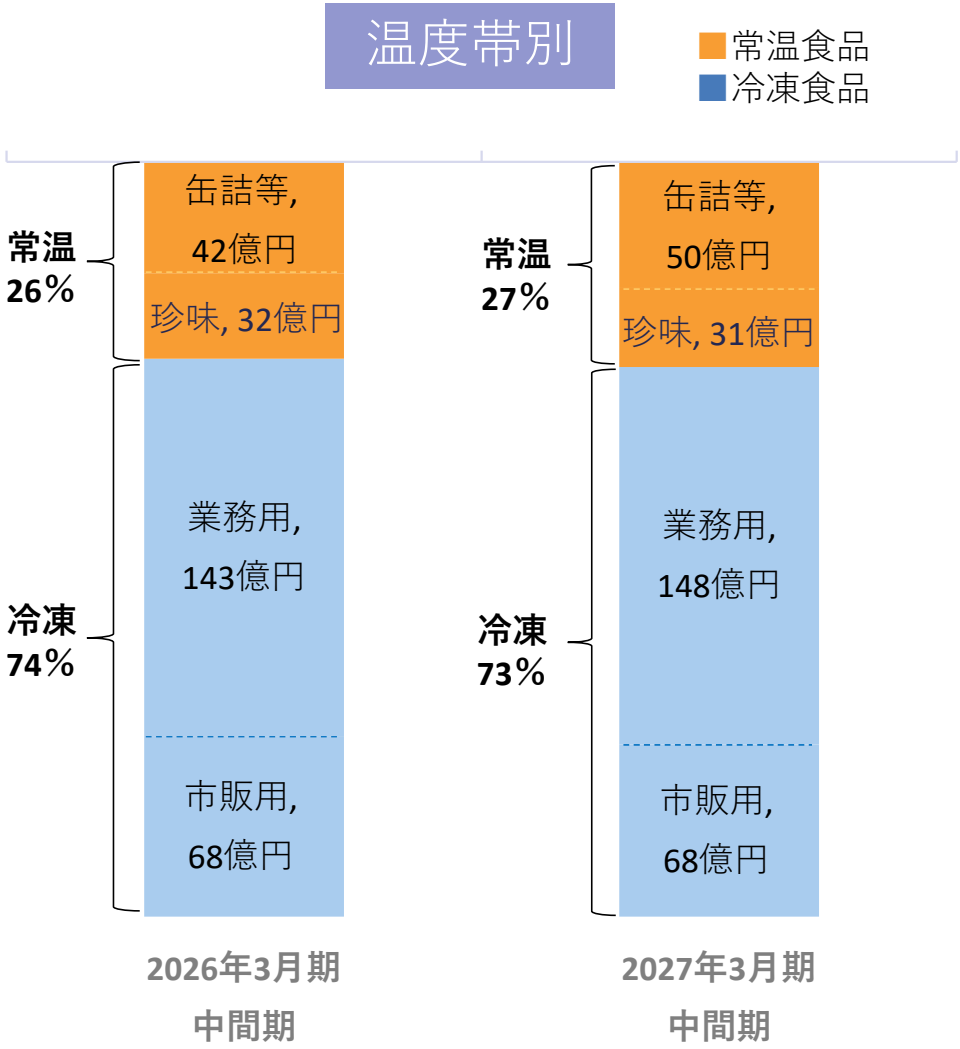
Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

ご参考資料④

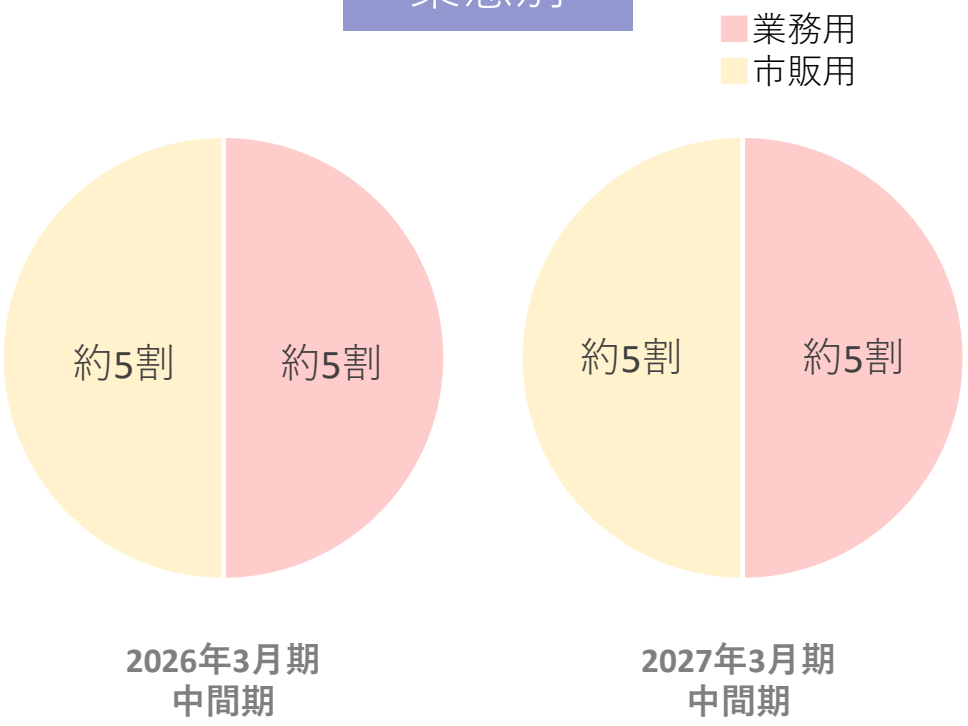
食品事業の売上高 2027年3月期中間期（29,661百万円） 内訳

2026年3月期中間期（28,547百万円）

温度帯別



業態別



※「缶詰等」は健康食品（約1千万円）等を含みます。

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

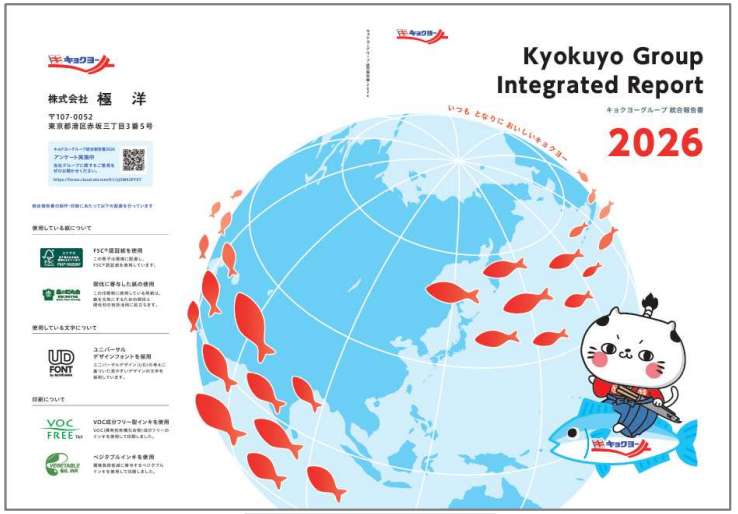
ご参考資料⑤

ESGトピックス



➢ 日本カヌー連盟への協賛

「自然との共生」および「水資源の大切さ」を社会に訴える環境保全活動の一環として日本代表選手や日本カヌー連盟の活動を応援、サポート。また、競技場へ来場された方々にご参加いただき競技コース付近の清掃活動「クリーンリバー活動」を実施。2026年度参加者は324名。



➢ キョクヨーグループ 統合報告書2026 発行【8月】

「海外でつくり、海外で売る」方針のもと、海外展開などを積極的に進めている事業戦略、適正な在庫管理など事業戦略を支える財務戦略、拡大戦略を支える人財の確保・従業員エンゲージメント向上に向けた「明るく一生懸命に従業員が働くことができる環境づくり」・従業員の待遇改善などの人的資本戦略、「責任ある調達」などの「健全な海洋を次世代につなぐ取り組み」を中心にお伝え。

➢ 社員向け魚食量増加運動

国内では「魚離れ」と言われて久しい中、「極洋から魚食量増加の輪を広げていこう」との観点から「水産会社なら魚を食え！」運動を2025年にスタート。
社員に魚のお弁当を無料配布し、魚食の意識向上を図っている。











Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

ご参考資料⑥

➢ 連結業績推移

（単位：百万円）

	2023年3月期 中間期	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期
売上高	133,619	126,075	140,565	155,996	173,763
売上原価	116,774	109,937	121,736	136,128	152,013
売上総利益	16,844	16,138	18,828	19,868	21,749
販売費および一般管理費	11,469	12,141	13,363	15,313	16,337
営業利益	5,375	3,996	5,464	4,555	5,411
経常利益	5,805	4,142	5,315	4,172	4,932
特別利益	302	74	20	295	81
特別損失	35	663	1,217	269	28
親会社株主に帰属する中間純利益	4,208	2,451	2,709	2,814	3,195

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

ビジネスフロー　水産事業

キョクヨーグループの事業領域

国内販売

原料買付

- サケ・マス
- エビ
- サバ　　等

原料販売

製品加工
（自社工場・協力工場）

- 定塩鮭
- 魚卵製品　　等

販売

販売先

- 卸売市場
- 問屋
- 加工業者
- 食品メーカー
- 外食企業
- スーパー

販売先

- 問屋
- 外食企業
- スーパー
- 産業給食
- 中食ベンダー

輸出

原料買付

- ホタテ
- サバ
- イワシ　等

輸出
（三国間貿易含む）

販売先

- 加工業者
- 日系卸問屋
- 外食企業

海外事業

原料買付

現地生産
（自社工場）

- 寿司種
- 煮魚
- 焼魚　　等

現地販売

販売地域

- 東南アジア
- 米国
- 欧州　　等

販売先

- 日系卸問屋
- スーパー
- 外食企業
- 加工業者

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

ビジネスフロー　水産加工事業

水産事業セグメントで取り扱っていたサケ以外の魚の切身商品と、食品事業セグメントで取り扱っていた「だんどり上手」シリーズを主に取り扱う水産加工事業セグメントを、2026年度より新設しました。

キョクヨーグループの事業領域

原料買付

- サバ
- カレイ　等

製品加工
（自社工場・協力工場）

- 骨なしフィーレ、切身



- 「だんどり上手」製品（切身・焼魚・煮魚）







販売

販売先

- スーパー
- 外食企業
- 問屋
- 産業給食
- 病院給食
- 介護施設
- 中食ベンダー

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

ビジネスフロー　生鮮事業

キョクヨーグループの事業領域

鰹鮪事業



カツオ調達
（自社船で漁獲・買付）

マグロ調達
（買付）

養殖事業

自社養殖

- クロマグロ
- マダイ　　等

原料販売



販売先

- 卸売市場
- 加工業者
- 食品メーカー

製品加工
（自社工場、協力工場）

販売

- ブロック
- ロイン
- 柵
- 寿司種
- タタキ

販売先

- 回転寿司
- 外食企業
- スーパー
- 中食ベンダー

生食事業

製品加工
（自社工場、協力工場）



販売

- 寿司種
- 刺身商材

販売先

- 回転寿司
- 居酒屋
- 外食企業
- スーパー
- 中食ベンダー

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

ビジネスフロー　食品事業

キョクヨーグループの事業領域

冷凍食品

製品加工
（自社工場、協力工場）

- 煮魚
- 焼魚
- カニ風味かまぼこ
- 水産フライ
- エビフリッター



販売

業務用　販売先

- スーパー（惣菜売場）
- 居酒屋
- レストラン
- 産業給食
- 中食ベンダー
- 問屋

市販用　販売先

- スーパー
- コンビニ
- 食品／食材宅配企業
- ドラッグストア

缶詰

製品加工
（協力工場）

- 水産缶詰
- 畜肉缶詰
- 農産缶詰





ドライ水産珍味

製品加工
（自社工場）

- さきいか
- あたりめ　等

販売

販売先

- スーパー
- コンビニ
- ドラッグストア

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

ビジネスフロー　物流サービス

キョクヨーグループの水産物・食品の保管・配送手配が中心です。
トラックでの運送業務は展開していません。

海外
水産物サプライヤー

自社工場

- 水産加工品
- 冷凍食品

外部顧客

- 冷凍水産品／畜肉
- 冷凍食品





キョクヨーグループの事業領域

保管
（冷蔵倉庫）

配送手配

配送先

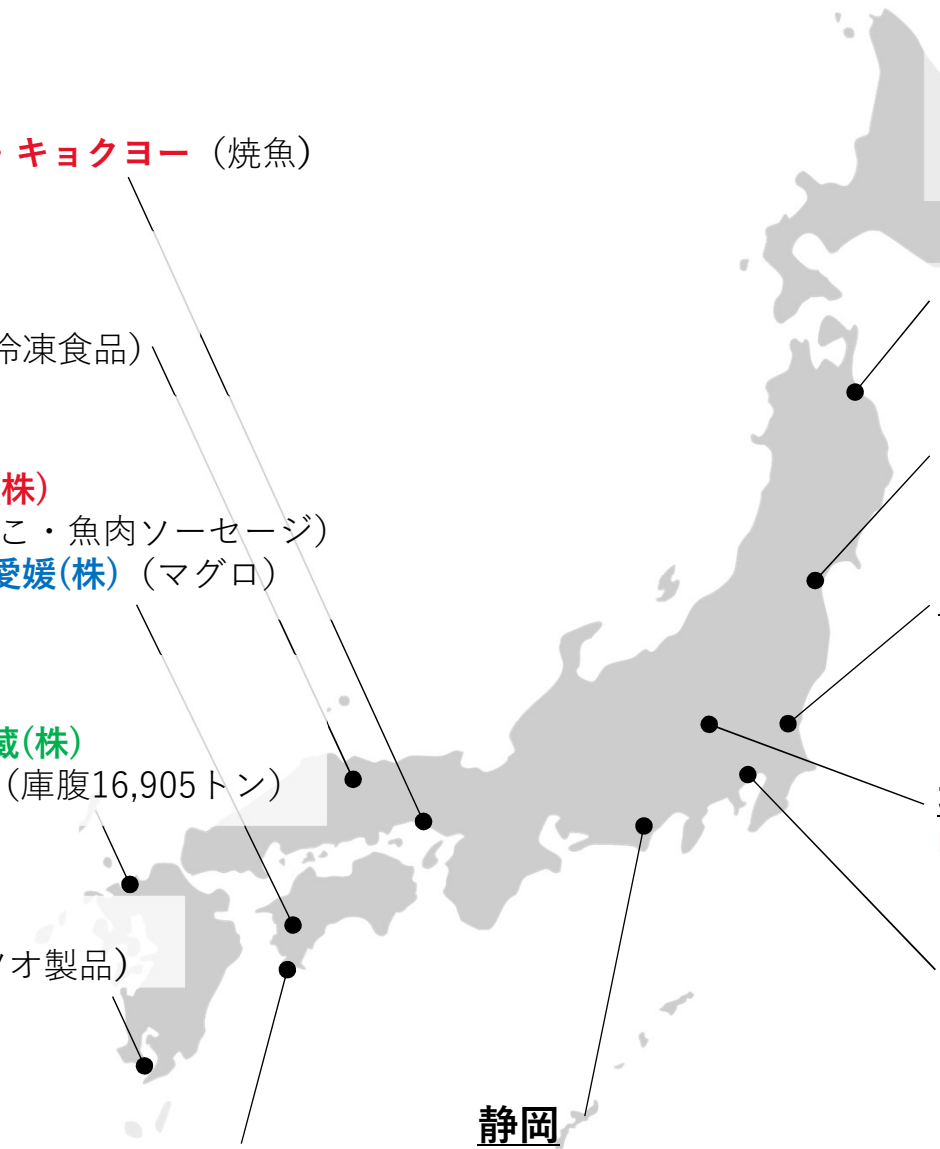
- スーパー、問屋の配送拠点
- 各セグメントの商品販売先

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

国内の主な製造拠点（主要製造品目）、養殖場（主要養殖品目）、冷蔵倉庫（能力）

■ 製造拠点　■ 養殖場　■ 冷蔵倉庫

2026年9月30日時点



北海道
- ■ (株)ジョッキ（海産物珍味）
  - 函館工場（一次・二次加工）
  - 高盛工場（一次加工）
  - 港工場（二次加工）
- ■ 太平洋スキャロップ(株)（ホタテ製品）

青森
- ■ 極洋食品(株)
  - 八戸工場（鮭鱒製品）

宮城
- ■ 極洋食品(株)
  - 塩釜工場（冷凍食品）

茨城
- ■ 海洋フーズ(株)（鮭鱒製品）
- ■ 極洋食品(株)
  - ひたちなか工場（魚卵製品）

埼玉
- ■ (株)ジョッキ（海産物珍味）
  - 埼玉工場（二次加工・包装）

東京
- ■ 極洋フレッシュ(株)（マグロ製品）
- ■ キョクヨー秋津冷蔵(株)
  - 東京事業所（庫腹23,750トン）
  - 城南島事業所（庫腹12,000トン）

静岡
- ■ 極洋水産(株)
  - 大井川工場（カツオ・マグロ製品）
  - 惣右衛門工場（マグロタタキ）

兵庫
- ■ (株)エィペックス・キョクヨー（焼魚）

鳥取
- ■ 極洋食品(株)
  - 倉吉工場（冷凍食品）

愛媛
- ■ キョクヨーフーズ(株)
  （カニ風味かまぼこ・魚肉ソーセージ）
- ■ キョクヨーマリン愛媛(株)（マグロ）

福岡
- ■ キョクヨー秋津冷蔵(株)
  - 福岡事業所（庫腹16,905トン）

鹿児島
- ■ 指宿食品(株)（カツオ製品）

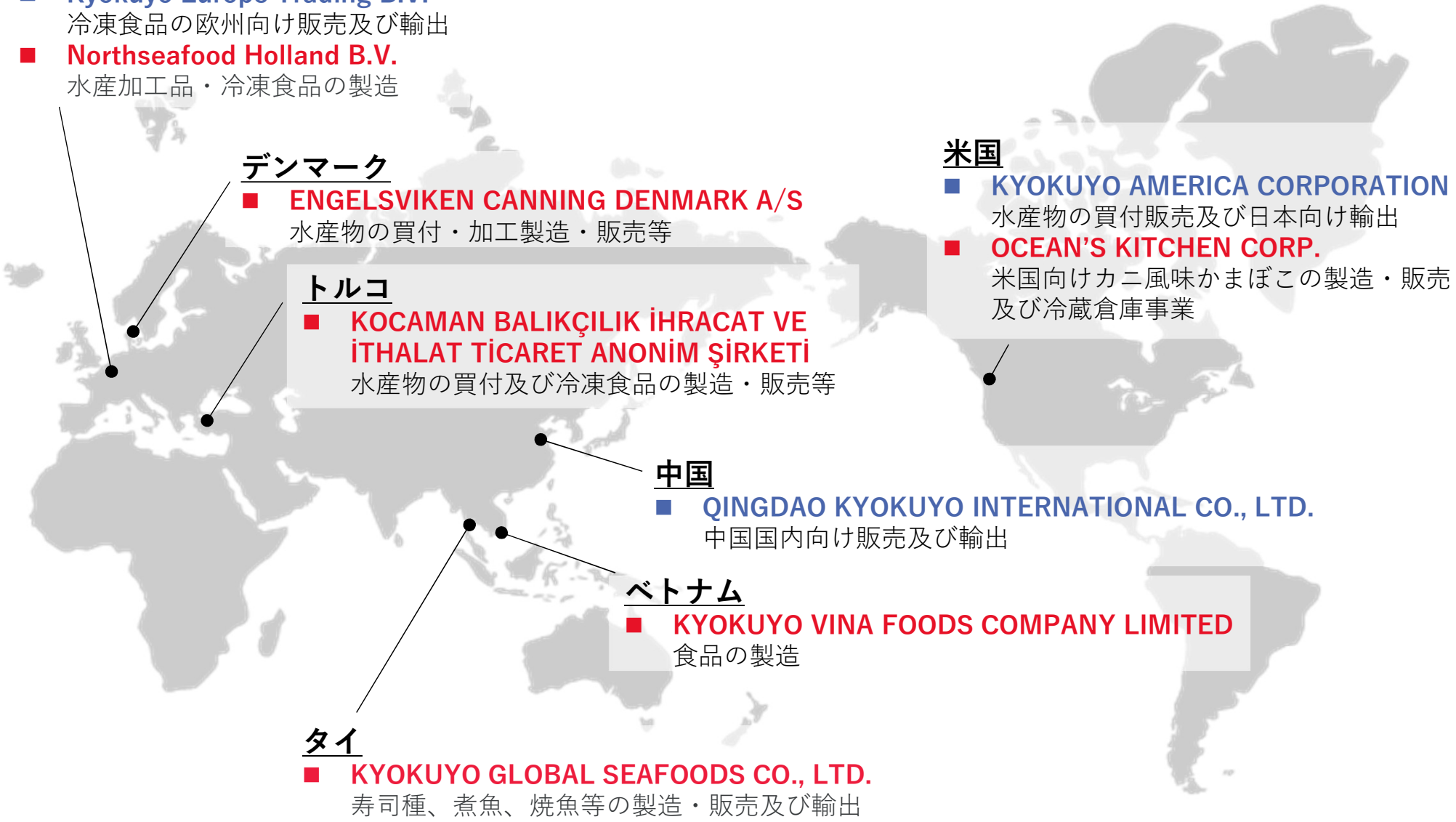
高知
- ■ キョクヨーマリンファーム(株)（マグロ）
- ■ (株)クロシオ水産（マダイ）

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

海外の主な製造拠点、販売拠点

2026年9月30日時点

■ 製造・販売機能に強みを持つ拠点
■ 販売機能に強みを持つ拠点



オランダ
- **Kyokuyo Europe Trading B.V.**
  冷凍食品の欧州向け販売及び輸出
- **Northseafood Holland B.V.**
  水産加工品・冷凍食品の製造

デンマーク
- **ENGELSVIKEN CANNING DENMARK A/S**
  水産物の買付・加工製造・販売等

トルコ
- **KOCAMAN BALIKÇILIK İHRACAT VE İTHALAT TİCARET ANONİM ŞİRKETİ**
  水産物の買付及び冷凍食品の製造・販売等

米国
- **KYOKUYO AMERICA CORPORATION**
  水産物の買付販売及び日本向け輸出
- **OCEAN'S KITCHEN CORP.**
  米国向けカニ風味かまぼこの製造・販売及び冷蔵倉庫事業

中国
- **QINGDAO KYOKUYO INTERNATIONAL CO., LTD.**
  中国国内向け販売及び輸出

ベトナム
- **KYOKUYO VINA FOODS COMPANY LIMITED**
  食品の製造

タイ
- **KYOKUYO GLOBAL SEAFOODS CO., LTD.**
  寿司種、煮魚、焼魚等の製造・販売及び輸出

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.

見通しに関する注意事項

本資料は、2027年3月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としております。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

したがって、実際の業績は、様々な要因によりこれらの予想と異なることがありますのでご了承ください。

当資料に対する問い合わせ窓口

株式会社 極洋　管理本部 経営管理部 法務IR課　電話 03-5545-0806



本資料は株式会社 極洋が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属します。複写及び無断転載はご遠慮ください。

Copyright © 2026 Kyokuyo Co., Ltd. All Rights Reserved.